

2016（平成28）年度

日本英文学会九州支部 第2回編集委員会

日 時：2016（平成28）年10月22日（土） 午前10時～10時45分

場 所：中村学園大学 2号館9階会議室

議事：

1. 『九州英文学研究』第32号（支部統合号 Vol. VIII）の刊行について

『九州英文学研究』第32号が2016年1月20日に刊行され、イギリス文学2編、アメリカ文学2編が掲載された。その内、イギリス文学の1編が優秀論文賞であった。これは前年度の大会で招待発表を行ったものに基づくが、一般論文として応募したものであった。また、懲憑論文の投稿はなかったことが報告された。

2. 『九州英文学研究』第33号（支部統合号 Vol. IX）について

『九州英文学研究』第33号には、イギリス文学5編、アメリカ文学3編の計8編の投稿があり、イギリス文学1編を採用した。またイギリス文学1編、アメリカ文学1編に対して再審査を行い、アメリカ文学の1編を採用した。その結果、イギリス文学1編、アメリカ文学1編の2編の掲載決定が承認された。また、懲憑論文の投稿はなかったことが報告された。

3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について

今回は、「優秀論文賞」の該当はなかったが、「奨励賞」に福岡女子大学講師 石田由希の「隠す、鳴らす、繋げる：サラ・ケインの『クレンズド』における拷問者の描出法」が決定された。

4. 編集委員会規定について

「編集委員会規定」4の委員会構成に「ただし必要に応じて委員を追加する。」を第一回会議の議論に基づき追加した。その改訂の日付については第一回会議が行われた2016年7月30日とすることが承認された。また、これまで通り、編集委員会は今後も16人体制にすることが承認された。

5. 委員の交代について

アメリカ文学の小谷委員と、英語学の向井委員から退任の申し出があった。後任に関しては、編集委員で検討し改めて後日報告することが承認された。また、その他の編集

委員の任期も2年間継続されることが確認された。また、次期編集委員長については、アメリカ文学から選出されることが確認された。

6. 「招待発表者」ならびに懇話について

今回は、イギリス文学（村里好俊氏、宮川美佐子氏）、アメリカ文学（高橋勤氏）、英語学（久保善宏氏）の4名の招待発表をお願いした。掲載論文数が少ないこともあり、招待発表については懇話論文投稿を事務局より依頼することが確認された。ただし、招待発表を依頼する際に前もって懇話論文についても言及する必要があることが確認された。また、一般発表についても編集委員から広く論文提出を促すこととされた。

7. 支部大会統合プロシーディングズについて

今年度のプロシーディングスは2016年9月16日に刊行された。九州支部分は31ページとなり、関西支部に次ぐ枚数であり、統合号全体に対する枚数比率としては大きいことが報告された。今後も例年通りの方法を踏襲することが承認されたが、投稿率は46パーセントであり、投稿者が減少傾向にあることが報告された。

====出席者13名（敬称略、部門別五十音順）====

鵜飼 信光（英文学・編集委員長）	小谷 耕二（米文学・編集副委員長）
虹林 慶（英文学）	高橋 勤（米文学）
宮原 一成（英文学）	竹内 勝徳（米文学）
大和 高行（英文学）	早瀬 博範（米文学）
大橋 浩（英語学）	
登田 龍彦（英語学）	
西岡 宣明（英語学・支部長）	
向井 毅（英語学）	
山田 英二（英語学・編集副委員長）	

2016（平成 28）年度

日本英文学会九州支部 評議員会・理事会

日 時：2016（平成 28）年 10 月 22 日（土） 午前 10 時 45 分～12 時 15 分

場 所：中村学園大学 2 号館 9 階会議室

議事：

1. 活動報告

黒木事務局長より、昨年度の第 68 回支部大会（2015 年 10 月 24 日・25 日）が佐賀大学で開催されたことが報告された。研究発表は 20 件であった。また第一回の編集委員会が 2016 年 7 月 30 日に、第二回の編集委員会が 2016 年 10 月 22 日に開催されたことが報告された。その後、今年度の活動に関して支部大会、『九州英文学研究』の刊行、大会 proceedings の刊行を例年通り行う旨の報告がなされた。今年度支部大会の研究発表は 21 件（そのうち、イギリス文学 11 件、アメリカ文学 4 件、英語学 6 件）となった旨の報告があった。

2. 会計報告

- ・黒木事務局長より、別紙の通り平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）支部会計報告が行われ、監査の大橋浩理事（九州大学教授）から確認の報告があり、承認された。
- ・今年度会計の中間報告、ならびに来年度支部予算案が、黒木事務局長より別紙に基づき報告され、承認された。

3. 統合号出版経費負担について

- (1) プロシーディングス分担金 未定 (31 頁) (昨年度は 101,243 円 (42 頁))
 - (2) 支部大会資料統合版分担金 0 円
 - (3) 英文学研究支部統合版第 9 号 未定 (第 8 号は 82,334 円 (40 頁))
- であることが黒木事務局長より報告された。

4. 編集委員会報告

- ・鶴飼編集委員長より、『九州英文学研究』第 32、33 号掲載論文に関する報告がなされた。(編集委員会議事録 1、2 参照)

(1) 『九州英文学研究』第 32 号について

2016 年 1 月 20 日刊行。イギリス文学 9 編、アメリカ文学 6 編の計 15 編の投稿中、イギリス文学 2 編、アメリカ文学 2 編が掲載。そのうちイギリス文学の 1 編が優秀論文賞。これは前年度の大会で招待発表を行ったものに基づくが、一般論文として応募したもの。懇談論文の投稿はなかった。

(2) 『九州英文学研究』第 33 号について

8 編(イギリス文学 5 編、アメリカ文学 3 編)の投稿があった。懇談論文の投稿はなかった。イギリス文学 1 編を採用し、イギリス文学 1 編、アメリカ文学 1 編に対して再審査をおこない、アメリカ文学の 1 編が採用。その結果、イギリス文学 1 編、アメリカ文学 1 編の 2

編の掲載となった。

(3) 学会賞について

今回は、「優秀論文賞」の該当はなかったが、「奨励賞」に福岡女子大学講師 石田由希氏の「隠す、鳴らす、繋げる：サラ・ケインの『クレンズド』における拷問者の描出法」が選出された。

5. 評議員選出校について

西岡支部長から鹿児島工業高専、佐世保工業高専、西日本短期大学の3校については、担当の教員が退職などの理由ですすでにおらず、今後も継続して選出が得られない見込みであるため、評議員選出校から削除することが提案され、承認された。また、担当の教員が在籍しており、まだ評議員選出校ではなかった九州共立大学、九州女子大学、産業医科大学の3校が追加されることとなった。その他の評議員選出校でない大学についても、協議の上来年度以降に追加する予定である。

6. 支部理事選挙について

西岡支部長から別紙資料に基づき、選挙規約・手続きについて説明があった。

7. 支部事務局の交替・新支部長の選出について

西岡支部長から別紙資料に基づき、支部事務局の交替・新支部長の選出について説明があった。来年度から事務局は福岡大学に、また、新支部長は山田英二理事に選出された。

8. 支部選出本部理事・評議員の選出について

西岡支部長から別紙資料に基づき、支部選出本部理事・評議員の選出について説明があった。

9. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について

全国大会は、5月20日（土）、21日（日）に静岡大学、支部大会は、10月21日（土）、22日（日）に長崎大学で開催される。

====出席者 27 名（敬称略、五十音順）====

《評議員》

井石 哲也
江口 巧
國崎 倫
後藤 美映
園田 暁子
水尾 文子
藤野功一（宮本敬子氏の
代理出席）
山田 健太郎
大和 高行
山根 一文

《理事》

鵜飼 信光（編集委員長）
大島 由紀子
太田 一昭
大橋 浩
木下 義貞
竹内 勝徳
登田 龍彦
西岡 宣明（支部長）
早瀬 博範
向井 毅
村里 好俊
山田 英二

《事務局》

田中 公介
團迫 雅彦
黒木 隆善（事務局長）
大塚 知昇

《その他》

谷川 晋一（廣江顕氏の
代理出席）